

# 第18回京都大学宇治キャンパス産学交流会

<防災研究所>

日時: 2015年12月16日(水) 14:00~17:00

場所: 京都大学防災研究所付属流域災害研究センター  
宇治川オープンラボラトリー 本館 セミナー室



今回は京都大学防災研究所付属流域災害研究センター宇治川オープンラボラトリーでの開催となります。平石先生より研究テーマについてご講演いただき、産学連携の実績報告を企業様よりお話しいただきます。また、川池先生の解説で、ラボラトリー内の施設見学、実験装置を用いた体験ができますので、ぜひ、みなさまご参加ください。

◆第1部: 講演会 14:00~ (講演・施設見学は無料)

## ◇研究シーズ

「沿岸構造物のレジリエンシ(粘り強さ)を高めるための産学共同研究」

京都大学防災研究所 教授 平石 哲也 氏

先の東日本大震災では、津波により多くの防波堤や防潮堤などの沿岸構造物が破壊され、大きな被害が生じました。これを契機に、従来考えられていた計画津波高さをレベル1、数千年に一度起こるかもしれない最大クラスの津波をレベル2として定義することになりました。沿岸構造物の多くは、レベル1津波等を対象として整備されていますが、レベル2津波に対しても“粘り強く”抵抗する必要があります。本講演では、粘り強さを発揮する工法を紹介します。



津波で破壊された  
釜石湾口防波堤

## ◇産学連携紹介

「『水に浮く布団 セーヴィングフローター』の開発について」

株式会社 NA テック 代表取締役社長 青山 栄次 氏

東日本大震災では、多くの尊い命が奪われ、その内、約90%以上は津波による溺死でした。このことから、日常使用するものでいざという時、即時に持ち出せるものはないかと考え商品開発に至りました。本製品の研究は京大防災研究所宇治川オープンラボラトリーにて実施し、より確かな研究結果が得られました。そんな水に浮く布団をご紹介します。



SAVING FLOATER

## ◇施設見学

「宇治川オープンラボラトリー実験棟」

京都大学防災研究所 准教授 川池 健司 氏

宇治川オープンラボラトリーは、水・土砂に関連する実験装置を備えた京都大学防災研究所の施設です。ここでは、防災に関する基礎研究から世界最先端の話題まで、学内外の研究者が様々な研究を行っています。また、この実験装置を用いて、津波の再現を見学したり、流水階段での歩行を体験したりすることもできます。

◆第2部: 交流会 17:30~19:00 (会費は講演会場受付で徴収いたします)

◇場所: 宇治川オープンラボラトリー 本館 展示・交流スペース

◇会費: 会員 2,000円、会員外 5,000円

◆主催: 京都大学・京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会・京都府中小企業技術センター・(公財)京都産業21  
◆共催: 京都やましろ企業オンリーワン倶楽部

# ★参加申込書 (京都府中小企業技術センターけいはんな分室 宛)

## 第18回京都大学宇治キャンパス産学交流会 (12月16日(水)開催)

京都府中小企業技術センターけいはんな分室までE-mailまたは、FAXでお申し込みください。

E-mail: [keihanna@mtc.pref.kyoto.lg.jp](mailto:keihanna@mtc.pref.kyoto.lg.jp)

FAX: 0774-66-7546

参加費用：第1部(講演会・見学)無料 / 第2部(懇親会) 会員2,000円・会員外5,000円

申し込み締め切り **12月11日(金)** (先着50名)

|     |    |      |        |        |
|-----|----|------|--------|--------|
| 会社名 |    |      |        |        |
| 所在地 | 〒  |      |        |        |
| 氏名  | 所属 | 電話番号 | E-mail | 参加(○印) |
|     |    |      |        | 1部・2部  |
|     |    |      |        | 1部・2部  |
|     |    |      |        | 1部・2部  |

※定員を超えた場合のみ連絡します。受付後、特に連絡しませんので当日お越しください。

会 場：京都市伏見区横大路下三栖東ノ口

(京阪中書島駅より徒歩20分/タクシー8分/車での来場可、駐車場完備)

